

報告事項② 令和4年度 国民健康保険特別会計当初予算の概要

歳入歳出予算の総額 413億6,300万円(前年度比較:▲15億6,700万円)

<主な歳入>

● **国民健康保険税 73億3,063万3千円**(前年度比較:▲1億6,805万8千円)

【減額の理由】

- ・被保険者数の減少
- ・未就学児の保険税均等割額5割軽減

● **県支出金 296億9,211万5千円**(前年度比較:▲14億4,828万8千円)

◆ **普通交付金※ 290億2,413万円**(前年度比較:▲14億6,653万円)

※県が市町村に対し、療養の給付等に要する経費について負担する交付金

【減額の理由】

- ・被保険者数の減少
- ・団塊の世代の後期高齢者医療制度への移行

● **繰入金 42億6,030万2千円**(前年度比較: +6,395万7千円)

【増額の理由(繰入金全体)】

- ・運営基金繰入金の増

◆ **一般会計繰入金 40億1,891万6千円**(前年度比較:▲2,364万円)

【減額の理由】

- ・被保険者数の減少に伴う保険基盤安定繰入金等の減少

◎補足: R4年度から新たに計上する一般会計繰入金

- ・未就学児均等割保険税繰入金(3,528万5千円)

◆ **運営基金繰入金 2億3,664万6千円**(前年度比較: +8,764万6千円)

<主な歳出>

● **保険給付費 292億6,700万2千円**(前年度比較:▲14億6,770万5千円)

【減額の理由】

- ・被保険者数の減少
- ・団塊の世代の後期高齢者医療制度への移行

◎補足: R3年度当初予算計上時点では、コロナ禍による受診控えの影響を推計することが困難だったため、コロナ禍を想定していないR2年度当初予算額とほぼ同額で計上。R4年度当初予算については、受診控えの縮小を踏まえつつ、被保険者数の減少傾向等を見込んで計上したものの。

● **国民健康保険事業費納付金 110億1,699万円**(前年度比較:▲5,564万7千円)

【減額の理由】

- ・<県全体> R2県国保特会決算剰余金の12.5億円※/前年度も同額)のほか、R2年度保険者努力支援交付金(事業費連動分)の約3.2億円の充当

※県による当該納付金の算定において、県は診療費等の伸びを見込む一方、市町村における納付金の急激な伸びを抑えるため

- ・<本市分> 国の特別調整交付金のうちの経営努力分再配分(1億1,100万円の減算)

● **保健事業費 3億2,943万4千円**(前年度比較:▲1,005万5千円)

◆ **特定健康診査等事業費 2億4,103万円7千円**(前年度比較:▲888万3千円)

【減額の理由】

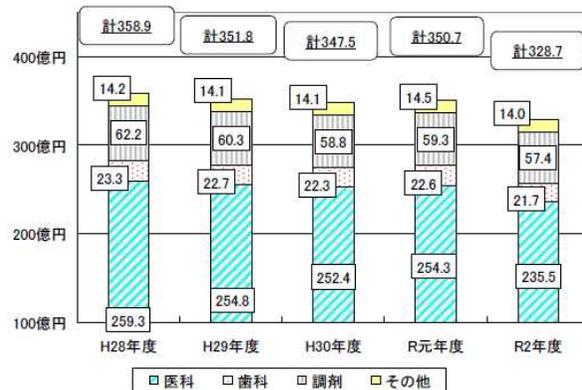
- ・被保険者数の減少

参考情報

●被保険者数の推移と見通し



●医療費の推移



●運営基金残高、基金積立額及び基金繰入額の推移(R3は決算見込み)

